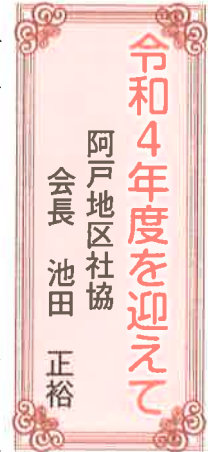


会報第150号
 令和4年7月29日発行
 阿戸地区社会
 福祉協議会
 広島市阿戸福祉センター内
 電話 856-0294

阿戸町の世帯・人口
 世帯数 931戸
 人口 1,944人
 男 942人
 女 1,002人
 (令和4年6月末現在)



新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ですが、今年度は予定通りの事業が実施できるといふ前提での事業計画としております。少子高齢化の進展により、一人暮らし高齢者の増加、地域社会における家族機能やコミュニティ機能の低下など、住民一人一人を取り巻く生活課題や福祉課題は、一層多様化し深刻の度を深めております。このような状況の中、今年度は引き続き広島市社協が推進しております「新・福祉のまちづくり総合推進事業」を中核に位置付けて各事業に取り組みで参ります。「高齢者地域支え合い事業」として「支え合いあーとネット」のさらなる充実、また、スタートから4年目を迎える住民主体型生活支援訪問サービス「あと協力隊」の円滑な運営を目指します。このほか、福祉教育と世代間交流事業、子育て支援等にも引き続き取り組みます。今年度も阿戸地区社協に對してのご理解とご支援をどうぞよろしく申し上げます。

「令和4年度事業計画・予算について」

阿戸地区社協 事務局長 林 文明

令和4年4月22日に阿戸福祉センターにて開催された評議員会で阿戸地区社会福祉協議会の令和4年度事業計画と予算が承認されました。令和4年度は引き続き広島市社協が推進しております「新・福祉のまちづくり総合推進事業」を中核に位置づけ、「高齢者地域支え合い事業」として各種団体や近所の方々が一体となって一人暮らしや病弱などの高齢者の方に対し、

し、声掛け、見守りを行い、共に支え合う地域社会づくりを目的とする「支え合いあーとネット」のさらなる充実に務めます。「あと協力隊」の利用者の拡大、サービス提供ボランティアの増加に努め、円滑な運営を目指す福祉教育と世代間交流事業子育て支援等も引き続き取り組みます。これらを着実に実施するため、別表の通り予算を計上しております。

令和4年度 阿戸地区社協 予算状況

		(円)		
収入の部		本年度予算額	比率	前年度予算額
正	会費	290,400	15%	290,800
賛	助会費	100,000	5%	105,000
補	助金	430,000	23%	430,000
寄	附金	100,000	5%	100,000
繰	入金	0	0%	0
雑	収入	2,623	0%	4,901
繰	越金	976,977	51%	839,299
合	計	1,900,000	100%	1,770,000

支	出の部	本年度予算額	比率	前年度予算額
事	務費	135,000	7%	135,000
総	務費	210,000	11%	190,000
広	報費	200,000	11%	200,000
地	域福祉費	370,000	19%	370,000
高	齢者福祉費	440,000	23%	440,000
ボ	ラ・推進費	100,000	5%	100,000
児	童等福祉費	150,000	8%	150,000
障	害児者福祉費	60,000	3%	60,000
備	品費	50,000	3%	50,000
予	備費	185,000	10%	75,000
合	計	1,900,000	100%	1,770,000



令和4年度 活動方針



地域福祉部会

部会長 池田 正裕

過去2年間新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で開催できなかった地域福祉懇談会を開催し、福祉ニーズや地区社協への要望等をお聞きする場を持たせてもらいます。また、高齢



児童・障害児者部会

部会長 田中 秀昭

児童・障害児者部会では、子育て対策や障害児者に対する理解を進めるに当たり、今年度も10回の事業を計画し推進していきます。

具体的には「子供と高齢者との交流会」「くにくさ苑の入所者との交流会」「親子の集い」「中学3年生と高齢者との交流会」「中学1年生としめ飾り作り」

者の楽しみになっっているいきいきサロンへの活動支援を引き続き行います。新たに設置された「地域団体連携支援基金」を活用して、町内の各団体との連携を密にし、多世代交流地域イベントの拡充にも協力します。今年度も、福祉関係機関・団体等との連絡調整を行い、地域福祉活動の推進に関することを実施して参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願います。



等々、又「入学記念品・卒業記念品」の贈呈も行っております。これらの事業を通して、小中学校の児童・生徒に「福祉の心」を醸成するため、学校サイドと連絡をとりながら事業を進めてまいります。
コロナ禍ということ、感染状況に応じて計画実施して行きますので皆様のご協力をお願いします。



広報部会

部会長 久光 肇

今年度も、阿戸地区社協の社会福祉活動や社会福祉協議会の実施する、諸事業に対するご理解や、ご参加を得るために、広報、啓発活動を行います。

そのために、各機関で開催された行事の内容を、町民の皆様にお知らせする会報「あと社協」を、年3回（7月、11月、3月）発行いたします。

「令和4年度 役員・評議員」

役職・名前・所属部会（◎は部会長）
出身団体
（役職別に五十音順・敬称略）

◆会 長
池田 正裕 ◎地域 連合町内会(第3区)

◆副会長
松田 英子 児童 民生委員・児童委員協議会

◆理 事
越智三千彦 高齢者 連合町内会(第1区)

児玉 攻 高齢者 老人クラブ連合会

下河 啓一 児童 連合町内会(第6区)

下條 孝志 広報 小中学校PTA

田中 秀昭 ◎児童 連合町内会(第5区)

出口 勝紀 ◎高齢者 ボランティアグループ

林 文明 ◎事務局 青少年健全育成連絡協議会

久光 肇 ◎広報 体育協会

堀内 直子 地域 女性会

松田 康憲 高齢者 連合町内会(第4区)

道村 義憲 広報 連合町内会(第2区)

横山 吉史 地域 ・公衆衛生推進協議会
学識経験者

植片 洋幸 ◎監 事 地域 連合町内会(第3区)

竹廣 潔 児童 体育協会

◆評議員
小野ヨシ子 高齢者 民生委員・児童委員協議会

景山 香葉 地域 民生委員・児童委員協議会

景山 英俊 児童 小中学校PTA

川崎 忠文 地域 連合町内会(第5区)

川崎富美子 高齢者 連合町内会(第2区)
女性会

又、紙面の充実をはかって、賛助会員を含み、全会員に配布いたします。

皆様に喜ばれる「あと社協」の発行に、広報部会員一丸となつて、広報活動に取り組んでいきますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



高齢者・ボランティア部会

部長 出口 勝紀

①ボランティアバンク活動の推進
ボランティアセンターに配置し、毎月の第一、第三金曜日に困りごと等の相談に応じます。
令和元年10月からスタートした有償ボランティア「あと協力

隊」の活動を、さらに広め充実を図るためにパンフレットの見直しやボランティア登録者の増加に努めます。

また、ボランティア育成のために、ボランティア交流会を実施します。
②「支え合いあーとネット事業」の充実

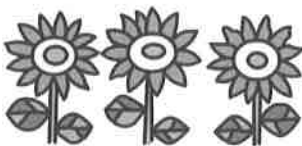
支え合いあーとネットに登録されている方を対象に、声掛け、見守りにより安否確認と心のふれあいを深めるために、毎月一回以上の訪問を継続し、また時期を限定しての栄養補助食品等を持参することも継続して実施

します。

③世代間ふれあい交流会開催
80歳以上の高齢者と阿戸認定こども園との「ひなまつり交流会」を実施します。

④住民福祉講座の開催
地域住民に福祉活動への理解を図るため、年に2回の福祉講座を開催します。

⑤友愛訪問事業や「いつまでも元気な老人」活動を行っている老人クラブ連合会への活動助成



〈お世話になりました〉

令和3年度をもって退任された方々です。ありがとうございました。

- 桐野 直子 児童 民生委員・児童委員 協議会
- 小森 崇 広報 青少年健全育成連絡協議会
- 迫 賢治 高齢者 老人クラブ連合会
- 下河 一宏 広報 連合町内会(第6区)
- 下條 美香 児童 ボランティアグループ
- 鈴政 良男 広報 防犯組合
- 田部 義光 高齢者 民生委員・児童委員 協議会
- 畠 佳代子 高齢者 小中学校PTA
- 長谷川 進 広報 連合町内会(第1区)
- 古井 智子 児童 民生委員・児童委員 協議会
- 宮野 清貴 高齢者 連合町内会(第4区)
- 三山真由美 地域 民生委員・児童委員 協議会

◆副会長

景山 香葉 ◎地域 民生委員・児童委員 協議会

◆理事

伊崎 正治 高齢者 連合町内会(第6区)

平山 宏幸 児童 連合町内会(第1区)

◆監事

下河 啓一 児童 連合町内会(第6区)

松田 英子 児童 民生委員・児童委員 協議会

◆評議員

植片 洋幸 地域 連合町内会(第3区)

木村源三郎 広報 連合町内会(第1区)

竹廣 潔 児童 体育協会

中川 光利 広報 交通安全運動推進隊

難波 裕子 児童 ボランティアグループ

道村 悟志 児童 連合町内会(第5区)

堀川 義憲 地域 連合町内会(第2区)

南 和美 高齢者 小中学校PTA

横山みどり 高齢者 民生委員・児童委員 協議会

♥賛助会員募集のお願い♥

今年度も引き続き、賛助会員を募集しております。頂きました賛助会費は、「福祉のまちづくり」のため、有効に使わせていただきます。皆様方のご協力をお願いいたします。

一口 5千円

申し込み先

阿戸地区社会福祉協議会

(阿戸福祉センター内)

昨年度(令和3年度)の賛助会員となられた方々は次の通りです。ありがとうございます。

●阿戸町内 (順不同、敬称略)

特別養護老人ホーム くにくさ苑
介護老人保健施設 りは・くにくさ

平垣内組(株)阿戸営業所

広島阿戸郵便局

(株)エムテック

安芸メタル工業(株)

社会福祉法人無漏福祉会 あとの郷

(株)アンドー

Aコープ阿戸店

阿戸地区民生委員児童委員協議会

(株)プロスト

(株)TODA

中本興業(有)

芸州運輸(株)

西日本レジコート(株)

●阿戸町外 (順不同、敬称略)

安芸農業協同組合萩原支店/熊野町

安芸交通(株)/熊野町

ひまわり印刷(株)/海田町

(株)アイオイ保険センター/東広島市

●阿戸地区社協のつぎ

4/8 小学1年生入学記念品贈呈

4/11 監査会

4/15 第1回理事会

4/22 第1回評議員会

5/13 第1回児童・障害児者部会会議

6月 子供と高齢者との交流会(延期)

6月 第1回福祉教育推進会議(中止)

6/25 地域福祉懇談会(第6区)

7月 くにくさ苑と交流会(中止)

7/3 地域福祉懇談会(第3区)

7/10 地域福祉懇談会(第2区)

7/16 地域福祉懇談会(第5区)

7/17 地域福祉懇談会(第4区)

7/22 ボランティア交流会(中止)

7/29 「あと社協」150号発行

〈今後の予定〉

8月 第1回住民福祉講座

8月 親子の集い

9月 第2回住民福祉講座

9/17 敬老会

10月 第2回福祉教育推進会議
10/22 金婚祝い慶祝訪問

今年金婚式を迎えられるご夫婦をお祝いします



阿戸地区社協では、結婚以来50年の永きに亘り、お互い労わり合い、励まし合って家庭の隆昌及び地域社会に貢献されたご夫婦を、11月22日(いい夫婦の日)にお祝いをいたします。

昭和47年1月から12月までに婚姻届を提出されておりますご夫婦は、各区町内会長又は担当民生委員までお申し出下さい。詳細は後日お知らせいたします。



善意の灯

次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。

ご厚志、まことにありがとうございます

◆ご厚志、まことにありがとうございます

◆香典の返礼にかえて

河原 元幸 様

堀内 幹夫 様

◆見舞いの返礼にかえて

吉谷 秀雄 様

◆一般寄付

副島 夕貴 様

編集後記

この2年間新型コロナウイルスによる活動制限の影響で、広報紙作りに少々苦労してきました。まだ気は抜けませんが、新しい生活様式の浸透とWithコロナの考えから、人とのふれあいも徐々にできるようになり、新年度からの社協の取り組みも以前のように実施されつつあります。

さて「あと社協」も今回が150号になりました。第1号は、昭和51年8月1日発行でした。改めてこの広報紙の役割を想い、「福祉のまちづくり」の一端を担う広報紙となるよう努めていきたいものです。

(広報部会 小森 崇)

お気軽にご相談下さい

第1・第3金曜日午前中(祝日除く)
阿戸地区社協では、皆様の困りごとやボランティア活動の相談に応じています。

掃除機
かけ

ゴミだし

庭の
草刈り

など

ボランティアコーディネーターが
お待ちしております!